

「春の吉報」

岩国高等学校

1月24日

甲子園出場決定

3月21日に阪神甲子園球場で開幕する「第86回選抜高等学校野球大会」の出場校が1月24日に発表され、岩国高等学校野球部が14年ぶり7回目の出場を決めました。出場決定が同校野球部員に伝えられると、柳川健大主将は「甲子園では『みんなを信じろ』という合言葉を胸に、チーム一丸となり、全力でプレーします」と力強く決意を述べました。

同日、市内随所で選抜出場を祝う横断幕などが掲げられたり、岩国駅前の商店街でくす玉割りが行われたりしました。

選抜出場の報告を受ける選手たち



気持ち新たに練習に取り組む選手たち





錦川清流線初詣列車

1月5日、錦川清流線を利用して宮島町の厳島神社に初詣を行う「新春初詣列車」が運行されました。錦川清流線の利用者拡大のため毎年恒例で行われている初詣列車は今回で34回目を数え、今年も115人の参加者でにぎわいました。今年一年の無病息災を祈願した参加者は昼食を共にし、親睦を深めました。



古き良き遊びを学ぶ

1月6日、由宇地域チャレンジ道場実行委員会が主催する「お正月お楽しみ会」が由宇文化会館で開催され、32人の子どもたちが集まりました。子どもたちは、かるた、将棋、囲碁のグループに分かれ、文化協会の皆さんの指導を受けながら、昔ながらの遊びを満喫していました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



グリーンオアシス 入館者100万人 達成!!

1月15日、周陽環境整備組合余熱利用温水プールグリーンオアシスで、平成7年11月の開館以来、入館者数が100万人を達成し、記念セレモニーが開催されました。くす玉が割られ、100万人目となった周東町在住の田村常好さんに記念品が贈呈されました。

田村さんは「毎日、健康づくりに来ていますがびっくりしました」と、思わぬサプライズを受けて喜んでいました。



とんど焼き

1月12日、本郷町で本郷山村留学センターの子どもたちが毎年の恒例行事となっているとんど焼きを行いました。

地元の高齢者に指導を受けながら、自分たちの背の数倍はある竹を切り、運び込み、組むところまで自分たちの手で行い、今年卒業する子どもたちの手で火が入れました。



東日本大震災 ボランティア奮闘記

1月18日、周東中田公民館で毛利次郎さんを講師に招いて文化講演会が開催されました。

音楽活動での苦労話や東日本大震災でのボランティア活動の体験を、自ら撮影した写真をもとにユーモアを交えて話されました。最後は、会場の皆さんと「じゃんけんの歌」を振りをつけて合唱しました。



憧れの選手と一緒に

1月25日、美和西小学校グラウンドで「ドラゴンサッカー教室」が開催されました。サッカー元日本代表の久保竜彦さんを講師に招いて、21人が参加しました。子どもたちはドリブルやシュートなどの基本技術を学び、久保さんは「しっかりボールを見てシュート!!!」とアドバイスを送っていました。



「見守りマップ」でご近所の絆

1月28日、南桑基幹集落センターで「美川地区の支え合いなくわを考える集い」が開催されました。「地域包括支援センターとつくる美川見守りマップ」では、寸劇発表の後に「みんなで支え合う地域づくり」の講話もあり、参加者は地域の支え合い、昔ながらのご近所付き合いの大切さを感じ取っていました。



朝食のすすめ

1月27日、由宇小学校で「朝食のすすめ」と題した料理教室が行われ、児童26人と食生活改善推進協議会由宇支部の食推さん4人で、みそ汁とご飯を作りました。

食推さんは「みそ汁のみそは濃さを調整しながら汁に入れる」「ご飯は炊飯器でなくても炊ける」など作り方のポイントを分かりやすく児童に伝えていました。